

一般公開・特別公開

1. 一般（通常）公開

岡山天体物理観測所は開所以来以下のように、常時一般に公開されている。

(1) 東京天文台時代

公開時間：9時30分～16時30分

(2) 国立天文台時代

公開時間：9時00分～16時30分

なお、蒸着作業等のため見学者の安全が確保されない期間は見学停止とするが、それ以外の期間は1年を通して公開を行っている。一般見学者は入り口の守衛所で住所氏名を記載の上、見学用通路を登って188cm望遠鏡ドームにいたり、見学室からガラス越しに望遠鏡や観測床を見学する（図6-2参照）。なお、休日や祝祭日の見学への対応は、東京天文台時代は守衛が交代で勤務し、守衛が配置できなくな

ってからは警備会社に業務委託している。現在は守衛所にインターホンとテレビカメラを設置することで、業務時間内の来訪にも対応している。

この間の岡山天体物理観測所の見学者数は、図6-1に示すようである。この40年間に併設の岡山天文博物館とをかねて延べで200万人近くが訪れたことになる。見学者数の長期的な変遷を見ると、徐々に減少をしているが、岡山天文博物館が平成2年に鴨方町に移管された際、プラネタリウムと太陽望遠鏡を新設した影響で、一時的に増えている。近年では、美星天文台や遙照山簡易保険保養センターの天文台など近隣に一般に公開される天文台ができたこともあり、見学者が分散しているが、当所の公開も、一般の人々や児童・青少年に宇宙への理解を進め、興味を抱かせるという点で、少なからぬ貢献をしているといえるであろう。

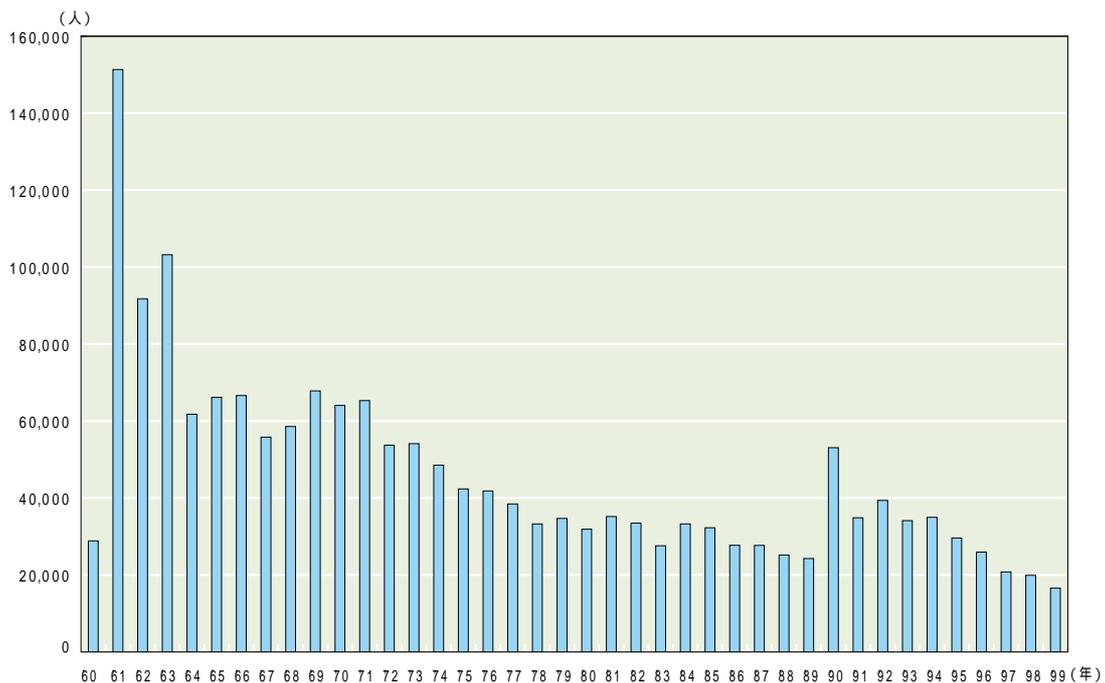


図6-1 見学者人数の推移

2. 特別公開

岡山天体物理観測所では光学赤外線天文学の研究
成果と観測所の仕事をより深く知って頂くために特
別公開を実施している（P172参照）。

夏休みあるいは秋晴れの頃に1日ないし2日開催
している。

通常の一般公開では入ることの出来ない188cm反
射望遠鏡ドーム内部や91cm反射望遠鏡ドーム内部
も公開して、望遠鏡を間近で見てもらい、その大き
さを実感していただいている。

天体からやってくる微弱な光をとらえるための観
測装置の仕組みや最新の観測成果を分かりやすく解
説した展示を行い、天文学に関心のある見学者の興
味や疑問に答えている。

また2000年11月3日には夜間観望会を開催した。
188cm反射望遠鏡のカセグレン焦点部に観望用接眼
ユニットを取り付け、肉眼で天体観望を楽しんでい
ただいた（P173参照）。

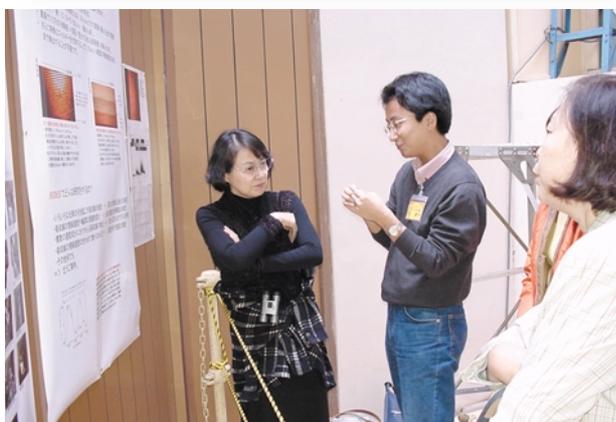
実際に188cm反射望遠鏡を使って星を見る感動を
味わうことができるため参加者から好評であった。

| | 期 日 | 来訪者数 | 備 考 |
|---|-----------------|-------|---------|
| 1 | 1985年9月21日 | 348人 | 夜間観望会あり |
| 2 | 1986年9月20日, 21日 | 433人 | |
| 3 | 1987年8月6日, 7日 | 855人 | |
| 4 | 1988年8月4日, 5日 | 890人 | |
| 5 | 1989年8月3日, 4日 | 547人 | |
| 6 | 1990年8月2日, 3日 | 1243人 | |
| 7 | 1991年8月9日 | 566人 | |
| 8 | 1992年8月7日 | 278人 | |
| 9 | 2000年11月3日 | 341人 | 夜間観望会あり |



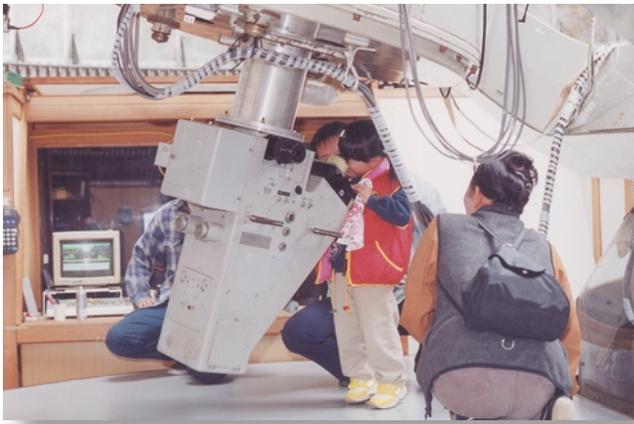
図6 - 2 188cm反射望遠鏡一般公開（見学者室の様子）

2000年11月3日 特別公開のようす



スタッフの説明に熱心に耳を傾ける見学者





188cm反射望遠鏡では日中は天体導入の
デモンストレーションを、夜間観望会は月などの観望を行った

